

## CLIEVY コメント

### 【ONE DAY】

ある日を境に、ひとりぼっちということをよく口にするようになった。

言葉は、曖昧なものを明確に伝える手段として最適だが、時に定義された意味と、その言葉に対するイメージに差異がありすぎて、伝えることが難しくなる場合が多々ある。

僕が使う「ひとりぼっち」と、人が受け取る「ひとりぼっち」も、そのひとつだ。

「ひとりぼっち」と「独り」は違うものだが、僕のイメージは以下の通りだ。

「ひとりぼっち」は、

どこか愛らしい。ヒソヒソ頑張っている。少し意思が弱く、少し甘い。

群れの中から自ら離れ今、自分は1人になっている。助けてほしい。

というようなイメージを持っているのに対して

「独り」は、

誰も頼る人がいない。独断的。天才。他人を信じない。強い意志。負けない。

本物の探究心、折れない。孤独。孤高。というイメージを持って使っている。

僕たちは、ひとりぼっちだけど、独りじゃない。

C&K そのものだと思う。

ひとりぼっちにはならないといけないんだけど、独りでは生きてはいけない。

ひとりぼっちなんだけど、独りにはなれない。なりきれない。

甘さも厳しさも、得意、不得意も、ひっくるめて、このテーマを深掘りしていきたいと思って台本やセットリストを考えた。

「ひとりの人間」をテーマにやるはずだった2020年のツアー。

できなくなった「ある日」があって、今という「ある日」につながっている。

あの日のある日は、今があるための「ある日」になる。

あんなことを思ったある日。

そのある日の出来事が作ったある日。

その1日の積み重ねを、このツアープロモーションビデオ【ONE DAY】に詰め込んだ。

そして、このツアープロモーションビデオは、いつか普通にツアーが出来る様になったときの「ある日」になるのである。

【ONE DAY】が【ONE DAY】を作るのである。

## KEEN コメント

この DVD は、2020 年にやる予定だったツアーの内容のパンフレットの立ち位置になっているのと同時に、コロナによって歩みを邪魔されようと、何があってもどんな手を使ってでも前に進んでやる、止められるもんなら止めてみろという燃えたぎる思いみたいなものが一緒に閉じ込められている。

真面目に不真面目に、C&K のまた新しい一歩をこの DVD をひっさげて 2021 年に殴り込みをしようという一枚。

この DVD に携わってくれたその道のプロフェッショナル達の仕事をその目に焼き付けて欲しい。